



貴方が

不田様

なでね？
2

催眠内容

- ・神倉は糸繰の事を神と認識する
- ・神の言うことは絶対、どんなことも違和感を覚えない
- ・神の声は安心感をもたらし、子宮が熱くなる
- ・神の息吹は全身に快感をもたらす
- ・解除すると記憶は一時的に封印され、別の記憶としてすり替える。他言もしない
- ・催眠を解除しても深いところで催眠されているので毎晩神の声で自慰をするようになっている
- ・記憶が封印されていても身体は覚えており、開発が進めば進むほど普段の糸繰に対する感情が高まる
- ・完全解除すれば抑え込まれていた糸繰に対する感情や性欲が爆発し催眠をせずとも身体を許す

依然ちくびをカリカリし続けていた私の我儘はすでに限界を超え、今すぐにもおまんこをぐちゃぐちゃにしてほしいと言わんばかりに腰がへこへこと浮いてくる

椅子の上で待つこと5分。
何があっても声はもちろん
動いてもいけないよと言われ
糸繰様は退室されました

じゅる...♡

まだ先程の興奮が冷めやらぬ中、
ちくびも触れずも
どかしさを耐えているところ
部屋のドアを開ける音がする

なにするんだろう....

はやく...♡

カリカリニ...♡

ちく...♡

ト...♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡

♡きゅん♡♡



思わず出そうになった
言葉を飲み込む
視線の先には二人
糸繰様とサラ

えっ……?

サラ……?

この教会で共に生活
しているシスターで
最近部屋を借りたと聞いた
昼間は同じ
キャンパスに通っている

は——

は——

は——

は——

は——

エッ

糸繰様と部屋に入ってきた
彼女は目隠しをしており、
いつもと違う修道服に見を包み
もじもじと足と閉じている

もじ
もじ

もじ
もじ

ドキドキ

ねえ...

うんどううん

さあ、どこだろうね

ドキドキ...

サウは系線様に手を惹かれ、私の座った椅子の前にあるベッドに二人で腰掛耳元で何かを囁かれています

オナニーしていたさっきの私と同じよう自ら足を広げる系線様はしーつと指でジェスチャーを送りいたずらっぽく笑います

いただいた御言葉を思い出してグクリと喉を鳴らす

ぐい





そこから目を見張る光景でした
糸繰様はサウと
えっちをし始めたのです

おまんこさんお入り...
あ、えい...えい...

私のベッドでべろちゅーをし
私のベッドでちくびをかりかりし
私のベッドでおまんぽを咥え
私のベッドでまるで恋人のように
おまんこにおまんぽを挿入し
えっちをしました

あっ♡あっ♡あっ♡
ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ちゅっ♡...♡
ちゅっ♡...♡

あ、えい

あ、えい

あ、えい

もじもじ♡
もじもじ♡



ぬいぬい

サラは誰の
なんだっけ

ゆうくんっ♡ゆうくんのっ♡
ゆうくんのおんなっ♡

ぐりぐり

おっ♡
ゆうくんっ♡
そこっ♡だめっ♡

だめじゃないでしょ

すきっ♡
ちんぽすきっ♡

ぐんぐん

よく言えました

おっ♡おっ♡
またいくっ♡いんもんっ♡
ちんぽびびくっ♡
しきゅーっ♡いくっ♡

は

ひくっ♡
ひくっ♡

は

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

ぬいぬい

ぬいぬい

にやにや

にやにや



すご……っ♡
またイってる……♡

はー♡

はー♡

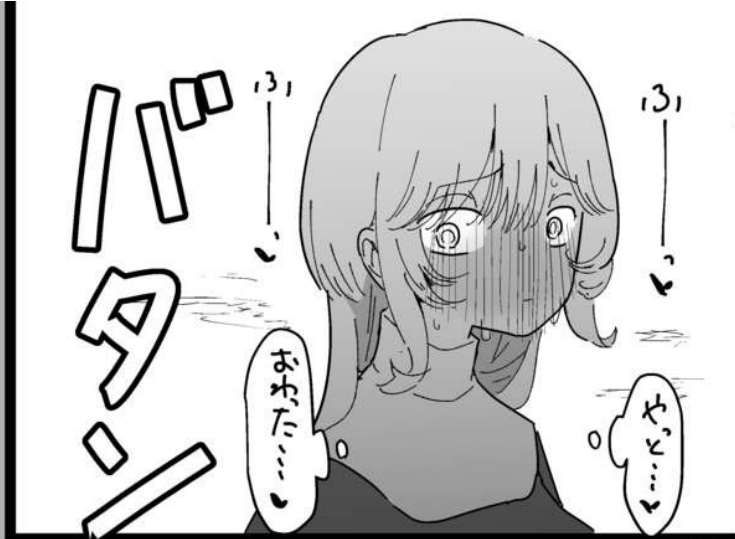
もう何度目の絶頂でしょう
夢中になって見ていた私は
3時間経っている事にも
自分の足元へ水たまりのように
できた愛液の存在にも
動けない中、腰がへへへこと
ひたすらに動いている事にも
気づけませんでした

じわあ♡

♡——♡

びゅん♡

♡——♡



サウちゃん送ってくから
そう言って3時間程えっちをし
ぐったりしたサウを抱え
糸繰様は部屋を出ていきました



椅子に座っていても精子と愛液の匂いが
ツンと鼻を刺しぞくぞくと全身が震え
自然と足がベッドへ動いていました



シートには精子のたっぷり入ったゴムが
大量に残され、サウの愛液とで
びちゃびちゃになっています



♡♡♡♡♡
♡さん♡
♡♡♡♡♡

じゅる...

♡...♡

♡♡♡

♡♡♡

ちよ、ちよっとだけ...♡
あじ...♡たしかめるだけ...♡♡
サウ...おいしそうだったから...♡
おちんぽ...♡あじみるだけ...♡♡



ニヤ...

♡♡

すん

すん

♡♡

におい...♡すご...♡っ♡
これ...♡せーし...♡♡
いとぐりさまの...♡おちんぽの...♡
どんなあじ...♡するのかな...♡♡



せーし...

せーし...

ドキ
ドキ

ゆたしも...

♡♡♡

♡♡

♡♡♡

おまんこっ♡きゅんって♡
においっ♡くせになるっ♡
もっと……♡もっと……っ♡
せーしほし……♡

あっ♡あっ♡これっ♡
すっ♡にがいっ♡の♡
こっ♡びっ♡♡♡♡♡

あっ♡にがいっ♡

♡……♡

おいしい？

ぞくぞく♡

ぞくぞく♡

♡きゅん♡

系線様は私に何をお付けになるのでしょう
いんもんが何の事かはわかりませんが
私の身体が期待するのには十分な
言葉であることはたしかでした

うーん

いん…もん…？

苦手意識もたないように
淫紋つけてから飲んでもらう
つもりだったんだけど…

みられた…

あ……っ♡

ドキドキ

ドキドキ

よし、じゃあうがい
終わったら「褒美あげる

そういえばサラのお腹に……

♡ さん ♡
♡ さん ♡
♡ さん ♡

ほ♡ ♡

……っ♡

ぞくぞく

あゝ

ちくび気持ちいい？

あゝ

はっ♡はいっ♡
きもちい…っ♡です…っ♡

むせ返るような匂いの立ち込めた
二人きりの私の部屋

系嬢様と友人であるシスターサウが
3時間程えっちを繰り返して
ぐちゃぐちゃになった私のベッド

その横に立ち、まだ頭の中に残る
二人の情事をおかずに
贅沢にもちくびを触って
いただいています



どう気持ちいいの？

ちくび…♡かりかりって
される…♡とっ♡

びりびりっ♡
ひろがっ…♡てっ…♡

こしっ♡へんへんって…♡
しちゃいます…♡っ♡

長時間の我慢したおまんこは
愛液でぐちゃぐちゃに濡れそぼち
ちくびを少しかりかりされただけで
伸縮を繰り返し、イきそうになります

サウが気持ちよくなっているのに
私はなにもせずじつと見ているだけ
そう命じた系操様は私が欲してやまない
長いおちんぼを彼女のおまんこに挿入し
まるで恋人のようにえっちをしていました

それをオナニーもせず我慢できた
私へのご褒美がこれなのです

いっぱい我慢したもんね

あっ♡あっ♡
これっ♡すぎですっ♡

ちゅわん♡

スリスリ……♡

あ♡

は

は

あ♡

♡♡

♡

♡

♡

あ♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

系線様の甘い言葉は心地よく
安心感と共に興奮が高まり
否が応でも腰が浮いてきます

とまらない……♡

すり
すり♡

すり
すり♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

系線様の長くしなやかな指は
私のちくびを休むことなく
すりすり、かりかりと
優しく触り続けます

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

おっ♡おっ♡だめっ♡
ちくびっ♡こしっ♡うくっ♡

ちくびっ♡

かりかりっ♡

ちくびっ♡

ちくびっ♡

ちくびっ♡

ちくびっ♡

我慢しなくて良いよと
ちくびをつぽつぽつと押し込み
思わず気持ちいい声が出てしまい
腰と浮き、へんへんと動いてしまう

つぽつぽつ♡かりかりっ♡
ちくびっ♡いじられっ♡
いくっ♡いくっ♡

♡ちゃん♡
♡きかん♡
♡きかん♡

じぶんてっ♡するよりっ♡
はやくっ♡いくっ♡おまんこっ♡
おまんこしまるっ♡いくっ♡

じゅあ♡

ちくびっ♡

ちくびっ♡

ちくびっ♡

ちくびっ♡

だめっ♡

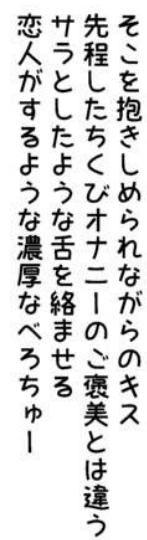
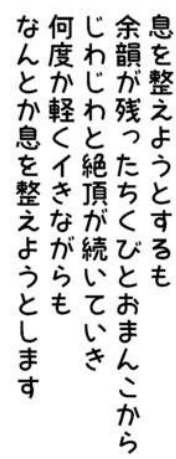
あっ♡あっ♡イクっ♡イクてるっ♡
ちくびだけでっ♡おまんこっ♡
しまっ♡いくっ♡いくっ♡

潰されたちくびから甘い電気が
走るように快感が全身を貫き
自分の身体じゃないみたいに
意思とは関係なくびくびくとはねる

おまんこからはおちんぽを
受け入れるための愛液が
とめどなく溢れ出し
下腹部がいつそう
熱を帯びるのがわかる

ズンズン





あ

417

 $\mathbb{F}_{2,6}^{11}$



きす……♡いっぱい……♡
くちのなか……♡はいって……♡
いとぐりさまの……♡だえき……♡
おいしい……♡♡

お腹におちんぽを当てていただき
ぼるちおを意識しながらも
糸繰様の長い舌へ私の舌を絡ませ
快感が幸福になっていくのを感じます

きゅん……♡

おしゅん♡

だえき♡

いはに♡

ながされる♡

ゆるめる♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡

だえき♡

いはに♡

したに♡

くらませ♡

ながし♡

こまれ♡

おまんこ♡

ちゅん♡

はい、マツリちゃんが
欲しがってたちゃんぽだよ

あ…っ♡

ちゃんぽ…♡

おちんぽ…♡

おちんぽ…♡

おちんぽ…♡

おちんぽ…♡

おちんぽ…♡

わ…♡

わたしにも…♡

は…♡

は…♡

は…♡

ベッドに腰掛けた
系線様の前へかがみ込む
私に下着越しのおちんぽを
向けていただき
鼻孔を突く匂いを感じます

下着越しでもわかる大きさが
先程のサウとのえっちを思い出させ
そのおちんぽをこれから
味わえるという期待が
ますます興奮を駆り立てます

ドギドギ

何を言われずとも下着越しのおちんぽへ
鼻をくっつけ、大きく息を吸う

……♡

すー♡

すん♡
すん♡

ちゅぽ……♡

ちゅぽ……♡

すー♡

サウとのえっちからまだ洗っていないそれは
蒸れた精子や愛液、様々な匂いが鼻を刺し
二度と忘れない記憶として
頭の中に残っていくのがわかります

ニオイ……♡

はっ♡

まだ……♡

ゴムの中のせーしと……♡
おなじにおい……♡
このおちんぽが私にも……♡
私のおまんこにも……♡

あっ……♡

じゅる……♡

ふまん……♡

まさ子さん……彼氏よりのも……♡
大きくて長いおちんぽ……♡
ずっと何も挿れてない
私の膣内いっぱい……♡

ふっ♡

はっ♡

ちゅぽ……♡

そうそう
見てたからわかるよね

くぽ♡

言われたように舌を這わせ
根本から先端へなぞるように
糸繰様の勃起したおちんぽを
味わせていただきます

ちぽ…♡

あき…♡

はい…♡

うう…♡

あまん…♡

おちんぽ…♡どくどく…♡
せーしゅ…♡
に…♡
つよ…♡
これ…♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡なる…♡

わたしにも…♡

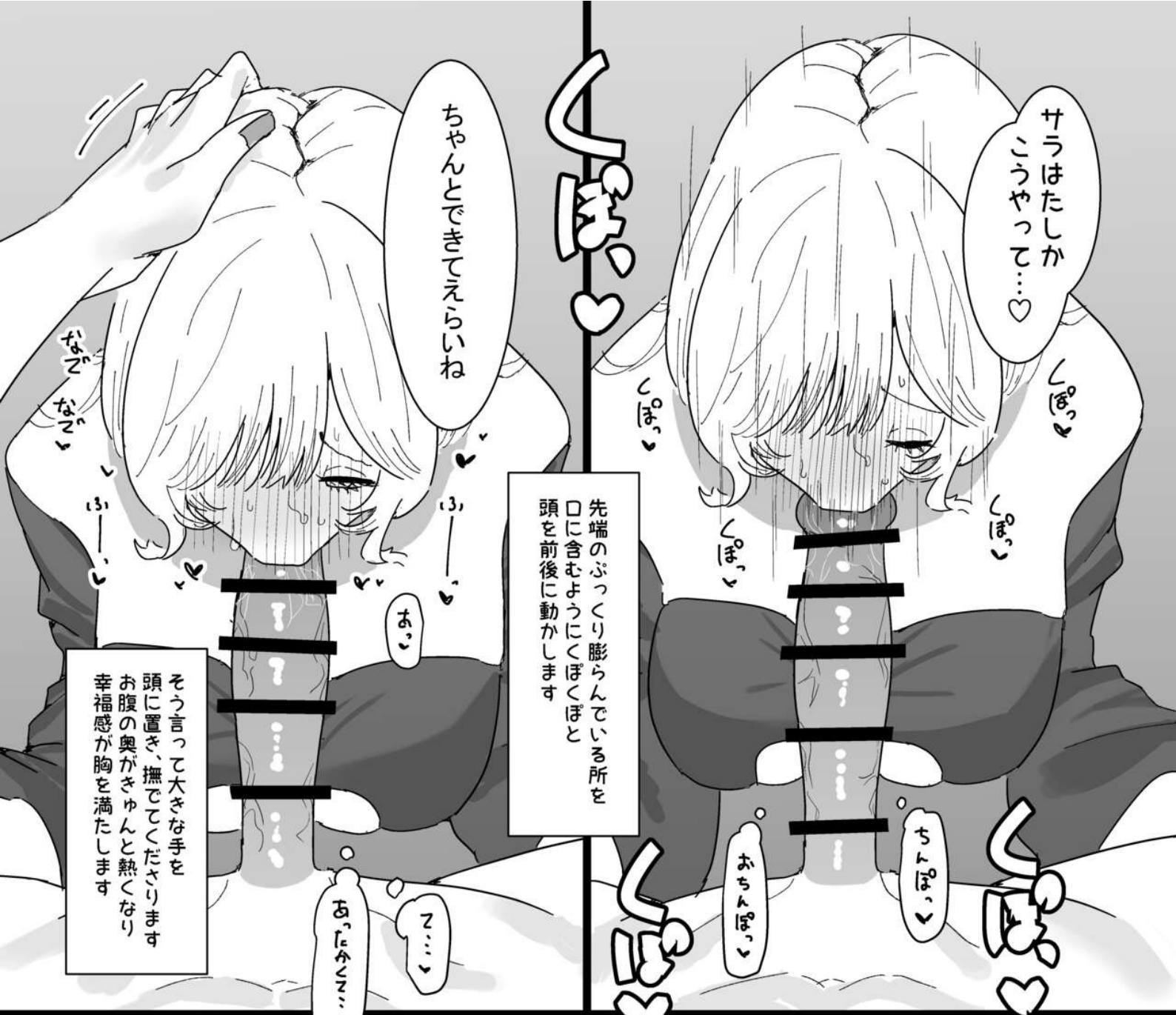
ちゅ♡

少し苦味がありつつも
癖のある味が口の中に広がり
鼻孔へと伝わっておまんこが
勝手にしまり愛液が溢れ出します

くぽ♡

くぽ♡

ちゅ♡



サうはたしか
こうやって...♡

くぽ♡

ちゃんとできてえらいね

先端のぷっくり膨らんでいる所を
口に含むようにくぽくぽと
頭を前後に動かします

そう言って大きな手を
頭に置き、撫でてくださります
お腹の奥がきゅんと熱くなり
幸福感が胸を満たします

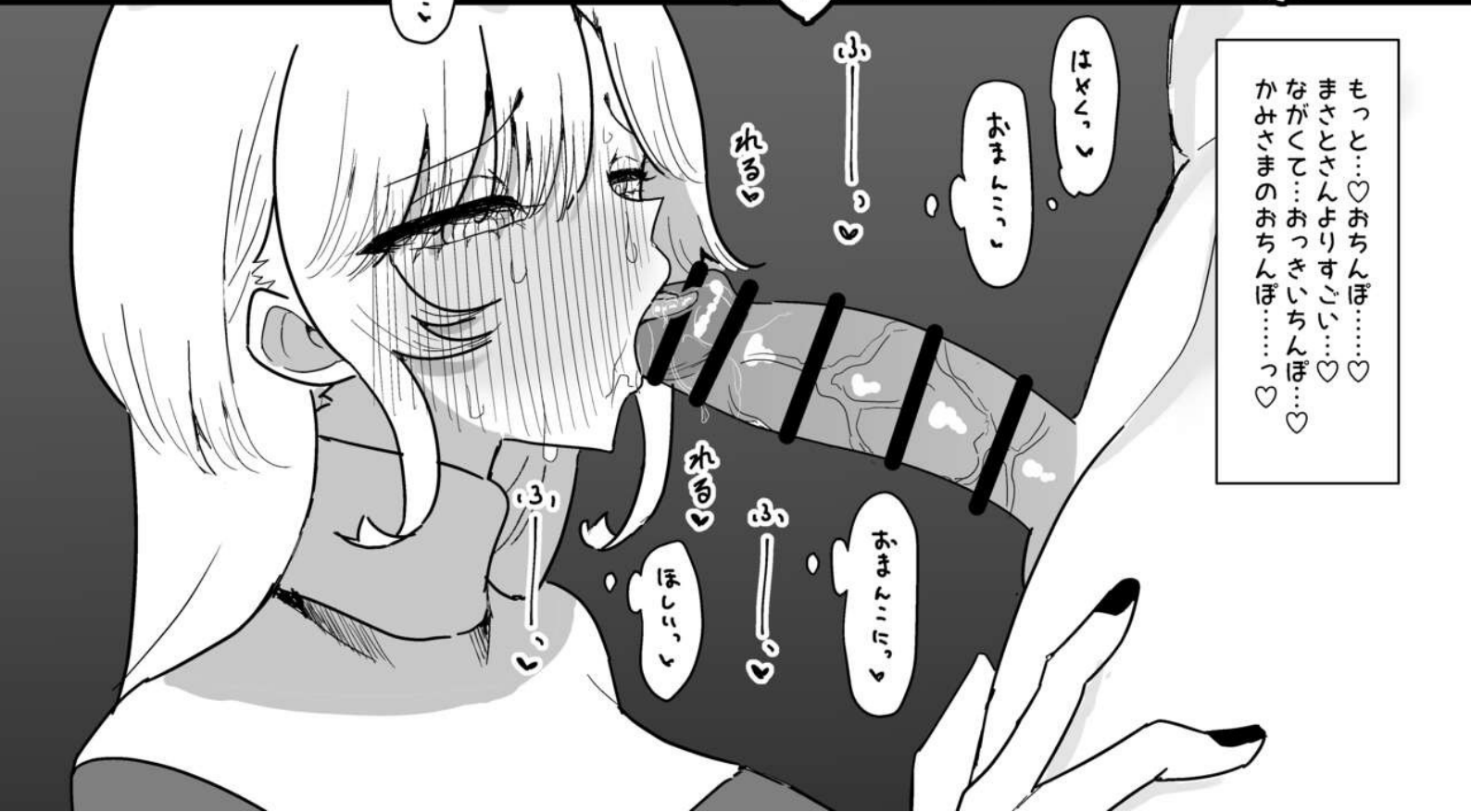
くぽ♡

おちんぽ♡

くぽ♡

あ、に、く、ん、...

て...♡



もっと...♡おちんぽ...♡
まささんよりすごい♡
ながくて...おっさいちんぽ...♡
かみさまのおちんぽ...♡

はぐ♡

おま、ん、...

ふ♡

れる♡

おま、ん、...

ふ♡

れる♡

ほし♡

ふ♡



射精するからね

~~~~♡

しばらく系繰様のおちんぽを  
味わわせていただいていると  
頭に手を添えゆつくりと  
私の口の奥までおちんぽが  
入ってくるように  
私の頭を動かします



じゃあそろそろ…



まるでモノのように  
けれど優しく私の頭を  
射精のために扱います

ドクドクと口の中で  
おちんぽが脈打ち精子が  
のぼってきているのがわかります

おちんぽ♡

ふんふん♡

くるっ♡しゃせーっ♡  
いとくりさまの♡  
せーしっ♡でるっ♡  
はやく♡はやく♡  
しゃせーっ♡してっ♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

きたっ♡せーきたっ♡  
おちんぽっ♡どぶどぶって♡  
わたしっ♡のっ♡くちっ♡  
いっばいっ♡でてるっ♡

せーっ♡

んんん♡

んん♡

んんん♡

ど、ど、ど♡

んん♡

んん♡

んん♡

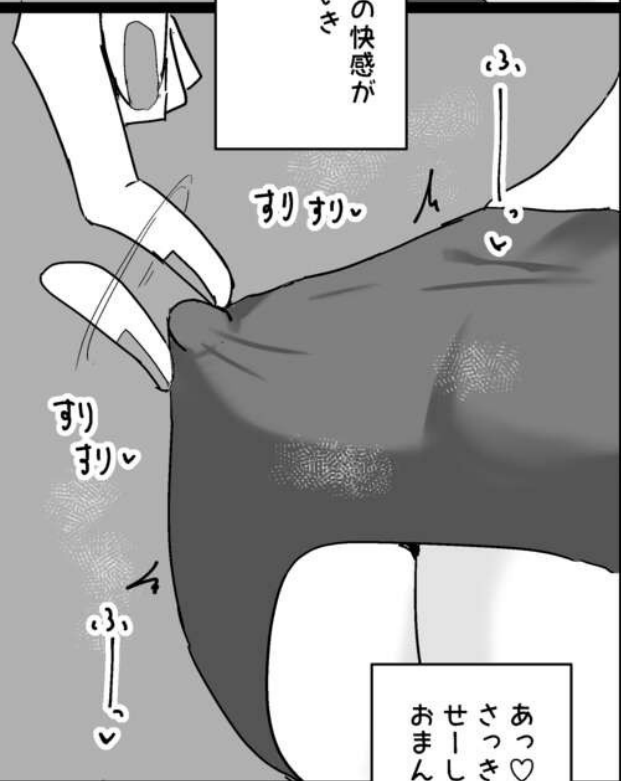
ど、ど、ど♡

いくっ♡しゃせーでっ♡いっ♡こま♡  
おまんこっ♡こすれるっ♡  
おちんぽほしいっ♡  
しまっ♡こすれてっ♡いっ♡こ

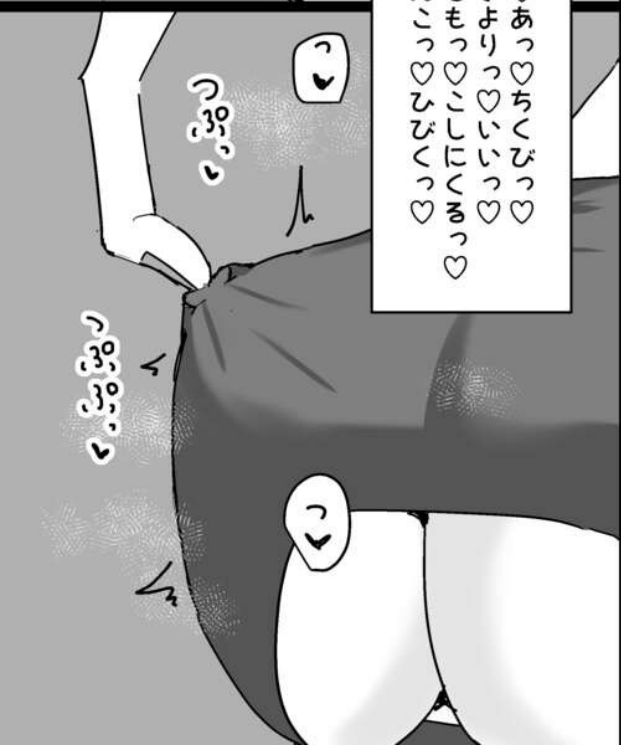
※1 ~~~~~ ♡



精子の味、匂いとちくびの快感が  
私の中で紐づけられていき  
おまんこがしまります



あっ♡あっ♡ちくびっ♡  
さっきより♡いい♡  
せーし♡♡こしにくる♡  
おまんこ♡♡びびくる♡



まだ飲んじゃだめだよ

……っ♡

ちんぐい♡

もじもじ

もじもじ

口の中に精子を残したまま  
さっきより敏感になった  
ちくびを指で触っていただきます

ちんぐい♡

もじもじ

かえに  
うく♡

もじもじ



気持ちよかった？

はっ♡  
はい……っ♡

せーし……♡

みまん……♡

んぐ……♡

のむだけ……♡

は……♡

は……♡

ちくびでいくのと同時に  
精子を飲み込むのを  
許可していただき  
全身で系操様を感じます

ぎん……♡

こな……♡

また大きくなった  
おちんぼがお尻に当たり  
まだ終わりではない事を  
悟ります

じゃああと四回ね

サッ……♡

……♡

せーし……♡

はっ……♡

……♡

今日から系操様の精子を飲み  
ちくびでいく事が  
神託での日課になりました



## あとがき

こんにちは、もみ子です！  
『貴方が神様なのですね2』の購入ありがとうございます～！  
催眠シスターモノの第二話になってます！  
前回も読むとより楽しめると思いますので  
合わせてお楽しみください～～

今回はマツリちゃんが住み込む教会の  
お友達サウちゃんが登場してます！  
系繰くんは先にサウちゃんに手を出していて  
より焦らすためにマツリちゃんに見せつけてます

そして新たに開発する箇所が増えました  
匂いは記憶への結びつきが強いと聞きます  
系繰くんの匂いを身体で覚えていくマツリちゃんが  
どうなっていくか…お楽しみに～

サウちゃんのお話は『あなかみ』の前日譚になります  
淫紋を付けられている彼女が  
系繰勇心くんこと"ゆうくん"との生活を  
どう送ってるのか……いずれ描きたいな

それではもみ子でした～～  
またお会いできれば嬉しいです！



以下を禁止しています  
・無断転載、複製複写、転用